



「槿花（きんか）って？」
「ムクゲの花だよ」

先週の回答



「ムクゲの花は、朝のうちに花を開き、夕方にはしぶんでしまう、わずか一日のはかない命の花だ」
「すると槿花一日（きんかいちじつ）は」「ムクゲの花のように、ほんの一時の栄華のことを『槿花一日』という」「信じられないなあ、ぼくには」「ムクゲの花はそういう花なんだよ」「ムクゲの花のことじやなくて、三郎叔父さんのことですよ」
「三郎？ 三郎って、わしの三番目の息子、おまえのパパの弟のあの三郎か」「はい。あの三郎叔父さんです」「あいつは有頂天になりすぎたんだ」「それについても・・・」
「今や行方不明。自業自得だ」「かわいそうだよ。いつもぼくにお土産いっぱい持つてきてくれたのに」



「考えようですね」
「何が？」
「考えようによつては、わずかな間でもピーク時があつただけマシだと思うのです」
「わしに対する皮肉か」「ピーク時がなかつたんですか？ おじいちやんには」
「ピーク時がなかつたんですね」
羽振りが良かつたときのことを思うと、まさに槿花一日男。ムクゲの花人生。真夏のサンタクロース。雪どけを忘れた雪。おごれる者はひさしからずやの見本。情けない悴だ」

今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。